

# おしめ乾燥処理実績

平成27年4月～平成28年3月

		焼却量(t)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
平成27年	4月	593	11,710	4,140	17,085	15,000	113.9%
	5月	500	10,320	3,430	15,551	15,000	103.7%
	6月	558	10,440	3,490	15,686	15,000	104.6%
	7月	640	11,650	4,110	17,018	15,000	113.5%
	8月	552	10,970	3,770	16,250	15,000	108.3%
	9月	556	10,480	3,730	15,235	15,000	101.6%
	10月	647	12,110	3,380	19,704	15,000	131.4%
	11月	630	10,020	3,640	14,400	15,000	96.0%
	12月	638	11,280	4,000	16,431	15,000	109.5%
	平成28年	1月	645	10,270	4,200	13,700	15,000
2月		587	9,660	3,680	13,500	15,000	90.0%
3月		813	10,870	4,040	15,415	15,000	102.8%
合計		7,359	129,780	45,610	189,975	180,000	105.5%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー(若しくは灯油等)を使用する事により、温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。